



ミャンマー国におけるグリーン成長促進事業

北九州市環境局環境国際戦略課

北九州市はクレアから2013年度海外経済活動支援特別対策事業による助成を受け、「ミャンマー国におけるグリーン成長促進事業」を実施しました。具体的には、市内企業などと合同で、2013年11月にミャンマー連邦共和国（以下、ミャンマー国）・ヤンゴン市で開催された「日本・ミャンマー産業交流展」への出展や、ミャンマー国における環境国際協力の実施可能性についての現地調査、協議などを行いました。

■ 事業実施の背景

工業都市として発展した本市は、1950年代から60年代にかけて公害を経験し、それを市民、企業、行政の相互努力により克服しました。このように、本市は早くから環境に関する取り組みに力を入れており、その経験やノウハウを生かして、アジア地域への環境国際協力を推進してきました。

こういった取り組みにより、本市は2011年に、経済協力開発機構（OECD）の「グリーンシティ・プログラム」における「グリーン成長都市」に、パリ、シカゴ、ストックホルムとともに、アジア地域で初めて選定され、2013年には、本市の環境に関する取り組みなどをまとめた報告書「北九州のグリーン成長」がOECDより発表されました。

報告書では、本市がかつての激甚な公害を克服した経験をもとに、環境国際協力を通じて、本市の経験や技術をアジア地域に移転してきたことについて高い評価を受けています。さらに、本市の企業が保有する優れた環境技術を活用した海外での環境ビジネスの展開の推進についても提言されています。

本市には、日本で唯一のパゴダ（ミャンマー式寺院）があり、地元の熱心な支援が続いているな

ど、古くからミャンマー国との関わりがあります。また、新興著しいミャンマー国では、各国からの投資および各国企業の進出が加速しており、今後もさらに経済発展が見込まれることから、市内企業の関心も高まっています。この事業は、本市および市内企業の技術を活用した環境国際協力およびビジネス展開の推進を行うことで、ミャンマー国のグリーン成長（環境改善を図りつつ、経済成長も遂げること）に寄与することを目的として実施しました。

■ 日本・ミャンマー産業交流展への出展

本市は、本事業の一環として、北九州商工会議所および市内企業2社とともに、ヤンゴン市で2013年11月8日～10日に開催された「日本・ミャンマー産業交流展」（主催：一般社団法人日本ミャンマー協会、ミャンマー商工会議所）に出展しました。

出展にあたっては、市内でミャンマー国への進出を想定もしくは進出している企業のビジネスチャンスの拡大につなげるため、北九州商工会議所に、展示会の市内企業への周知および参加企業の募集、参加企業との連絡調整、現地企業などとの商談のアレンジ、本市ブースの展示などの業務を委託しました。

展示会の開会式では、ミャンマー国を訪問中であった本市の梅本和秀副市長が、本市および市内企業の紹介を行い、引き続き市内企業2社が自社概要などのプレゼンテーションを実施しました。

この展示会には、日本から約10社・団体が、ミャンマー国からは約30社が参加しました。この展示会は、商品やサービスの紹介、展示にとどまらず、ビジネスマッチングのための商談機会の設定に重



梅本副市長による北九州市の紹介

点を置いていたことから、出展前に北九州商工会議所より現地企業に対して商談希望を打診するなどの事前準備を行った結果、多くの現地企業との商談を実施することができました。出展した2社にとっては、ミャンマー国におけるビジネス展開の大きな足がかりとなりました。

また、本展示会の開催期間中に本市の梅本副市長と、ミャンマー商工会議所のウィン・アン会頭との会談が実現しました。会談では、本市からは市内の参加企業のミャンマー国進出への協力、支援を依頼するとともに、ミャンマー商工会議所からは、北九州商工会議所との関係強化の提案があるなど、今後の市内企業のビジネス展開にとって実りある会談となりました。



北九州市ミッション団とミャンマー商工会議所会頭との会談

さらに、本市職員が2014年2月にヤンゴン市において在ミャンマー日本大使館、ジェトロヤンゴン事務所などを訪問し、市内企業について紹介し、ミャンマー国進出のための支援を依頼するなどの側面支援の取り組みを行いました。

これらの活動を通じて、市内企業がミャンマー国においてビジネス展開をするための基盤を作る一助となったと考えております。

■ ■ ミャンマー国における ■ ■ 環境国際協力の推進

また、本事業の一環として、本市職員が、在ミャンマー日本大使館、JICAミャンマー事務所さらにはマンダレー市およびヤンゴン市の開発委員会などを訪問しました。

各所において、環境分野における協力案件の有無や、現地の廃棄物処理状況をはじめとする環境問題の現状について、ヒアリングや現地調査などを実施した結果、マンダレー市開発委員会（清掃局）より本市に対して、廃棄物管理の人材育成や市民啓発などに関して協力の要望がありました。

本市は、この要望を受け、マンダレー市と協議、調整を進めた結果、2014年11月には、現地で清掃局職員向けおよび一般市民向けの廃棄物処理や環境教育に関するワークショップ、セミナーの開催に至りました。

■ ■ 今後の展開

ミャンマー国は「アジア最後のフロンティア」と呼ばれる、今後の大きな発展の可能性を秘めた新興国です。そして、これからの経済発展に伴い、環境改善のための取り組みのニーズも今後大きくなることが予想されます。

本市はすでにマンダレー市において、上水道の水質向上のための技術協力事業を開始しています。また、環境分野においてもワークショップを実施するなどの連携が始まるなど、マンダレー市との都市間連携が着実に進んでいます。

本市は、今後も引き続き市内企業のミャンマー国進出をさまざまな側面から支援するとともに、環境改善につながる環境国際協力をさらに推進していくことで、ミャンマー国のグリーン成長に貢献してまいりたいと考えております。